

# 道の駅やまだ



共同募金会からAED届く

道の駅やまだに自動体外式除細動器（AED）が設置されました。AEDの普及と啓発を目的に岩手県共同募金会が実施した「AED設置支援事業」によるもので、県内の8施設に贈られました。道の駅やまだの阿部達也支配人は「さまざまな方が訪れる道の駅には、AED設置の必要性があると感じています。道の駅で使用するだけでなく、緊急時には地域の人たちにも貸し出したい」と話していました。



## 収穫祭で秋の味覚を堪能

試食コーナーには長蛇の列ができました（上写真）／会場は地場産品を買い求める人でにぎわいました



私たちは山田産の農産物などを次々に買い求めていました。また、荒川地区特製の「熊汁」と「乾椎茸のステーキ」の試食コーナーには長蛇の列ができ、来場者は秋の味覚を心行くまで堪能していました。

11月3日と4日、道の駅やまだで「収穫祭」が行われました。道の駅登録8周年を記念して開催されたもので、2日間で観光客ら5000人が来場しました。会場では町内で収穫された新米やダイコン、リンゴ、シイタケなどが販売され、訪れた人



温かいひつまみ汁が無料で振舞われました（上写真）／にぎわう店内の様子

## 空き店舗活用事業「街逢室」

### 来場者で連日にぎわい見せる



山田町市街地活性化委員会では、商店街に活気を生み出そうと、11月17日から25日まで中心商店街空き店舗活用事業「街逢室『おおきに』」を開業しました。川向町の空き店舗を会場にお祭り写真展や美術家百瀬寿さん（盛岡市）の作品展など盛りだくさんのイベントが企画され、期間中は900人が来場しました。17日にはダイコンのプレゼントや中国茶の試飲会が行われたほか、ひつまみ汁の無料試食コーナーでは、用意した100食があっという間になくなるほどの盛況ぶりです。訪れた人たちは温かいひつまみ汁に舌鼓を打っていました。また、18日以降も日替わりで▶いかせんべいのつかみ取り▶お菓子の詰め放題▶包丁研磨チャリティー▶甘酒、玉こんにゃく、おしるこの試食▶生ビールや木樽入りワインを楽しむ会——などさまざまな催し物が行われ、連日多くの来場者でにぎわいを見せていました。